

2007 年のアルゼンチンのサマータイム (DST) の変更

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[範囲と影響](#)

[該当するシスコプラットフォーム](#)

[アプリケーション ネットワーキング サービス](#)

[インターフェイス/モジュール](#)

[Cisco IOS ソフトウェア](#)

[ネットワーク管理](#)

[オプティカル ネットワーク](#)

[ルータとスイッチ](#)

[セキュリティおよび VPN](#)

[ストレージ ネットワーキング](#)

[TelePresence](#)

[ツールとリソース](#)

[ビデオ、ケーブル、コンテンツ配信](#)

[音声とユニファイド コミュニケーション](#)

[ワイヤレス](#)

[設定と回避策](#)

[適応型セキュリティ アプライアンス \(ASA \) と PIX プラットフォーム](#)

[Application and Content Networking System \(ACNS \)](#)

[CatOS プラットフォーム](#)

[CiscoWorks](#)

[コンテンツ サービス スイッチ \(CSS \)](#)

[侵入検知および防御 \(IPS \) および侵入検知システムサービスモジュール2 \(IDSM2 \)](#)

[Cisco IOS ソフトウェア プラットフォーム](#)

[Cisco IOS XR](#)

[ONS 15000 シリーズの製品](#)

[ストレージスイッチ \(SAN-OS \) – ストレージ MDS 9500 シリーズ](#)

[Unified CallManager Express \(CCME \)](#)

[VPN 3000 コンセントレータ \(Altiga OS \)](#)

[Windows オペレーティング システム](#)

[関連情報](#)

概要

2007年12月21日、アルゼンチン大統領はサマータイム(DST)が2007年12月30日から2008年3月16日まで観測されることを発表しました。将来の夏時間の期間に関する情報は発表されていません。アルゼンチンは、新しい発電能力を開発しながら、限られた発電資源をより効率的に使用するためにこの処置を行いました。

夏時間の変更の概要		
	2007年より前	2007年以降
開始	DSTが観測されない	2007年12月30日
終了	DSTが観測されない	2008年3月16日

詳細については、次のURLを参照してください。

<http://www.lanacion.com.ar/973996-el-congreso-convirtio-en-ley-el-cambio-del-huso-horario>

このドキュメントで提供される設定変更は、さまざまなタイムゾーンの夏時間に「プログラムされている」日付を変更するために必要です。新しいソフトウェアを実行している一部のデバイスでは、機能拡張要求がデバイスで実行しているソフトウェアのバージョンに含まれている場合、この変更を必要としない場合があります。この拡張機能を含むソフトウェアでは、古い夏時間の値は新しい夏時間の値に変更され、このドキュメントの設定変更は必要ではありません。各製品に関する詳細については、『[該当するシスコプラットフォーム](#)』を参照してください。

デバイスやプラットフォームのログやその他のタイムスタンプ付きの通信においてデバイスの時刻が正しくなるよう、古いルールを実行するデバイスでは設定またはOSの変更を行う必要があります。

[\[先頭に戻る\]](#)

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

範囲と影響

DSTの変更は、夏時間をサポートするように設定された自動時間変更をサポートするすべてのデバイスに影響します。この変更は、シスコおよびシスコ以外のデバイスに影響します。夏時間の

開始と終了に対する変更の影響を判断するために、時間に敏感なメッセージングまたはその他のタイムスタンプ付き通信を使用するベンダーに連絡してください。

変更されていない影響を受けるデバイスでは、DST期間中の実際の時刻から1時間離れた時刻が表示される可能性があります。2007年には、DSTは2007年12月30日に開始され、2008年3月16日に終了します。この変更は、2007年12月に初めて有効になります。この変更は、通常の操作のトラブルシューティングやモニタリングの一部として実行されるイベント関連のアクティビティに重大な影響を及ぼす可能性があります。

将来のためにログをキャプチャし、関連付け、保存するセキュリティ関連のデバイスの場合、この時間変更によってイベントのシーケンスを再構築するために再現する必要があるような状況において誤ったログが提供される場合があります。誤ったタイムスタンプは、ただちに対応を要するイベントでは問題にならない可能性があります。ただし、将来的には、イベントで不正確な時間が表示されます。

AAA(Authentication Authorization Accounting)サーバ、コンテンツデバイス(CE)、cronジョブ、ビデオストリーミングサーバなどの時間ベースの制御とアクティビティを持つデバイスは、影響を受ける可能性があり、適切なベンダーに確認する必要があります。

その他の例としては、コール詳細レポートや請求情報に影響を与える可能性のある誤った時間で記録されたコールや、政府機関が定義した所定の時間外に顧客にダイヤルする不正確なキャンペーンダイヤル時間などがあります。これは政府規制の違反です。

したがって、認証サーバ、同期アクティビティ、スケジュールされたイベント(バッチジョブ、タイムバックアップ、テレマーケティング用の自動ダイヤル機能やスクリプトなど)などの時間ベースの制御とアクティビティを持つデバイスは、新しいアルゼンチンDSTルールが有効になる期間中に影響を受けます。

[\[先頭に戻る\]](#)

[該当するシスコプラットフォーム](#)

このセクションの表は、さまざまなプラットフォームのオペレーティングシステムに対するデフォルトの変更を追跡するために作成された、シスコの機能拡張 ID を示します。これらの機能拡張を含むソフトウェアバージョンは、夏時間を確認するように適切に設定されていると、時刻を正しく変更します。これらの機能拡張は含まれていませんが、夏時間をサポートするソフトウェアバージョンでは、2007年12月30日以降は無効となる以前の日付が使用されます。

製品に関する詳細については、次のカテゴリを参照してください。

- [アプリケーション ネットワーキング サービス](#)
- [インターフェイス/モジュール](#)
- [Cisco IOS ソフトウェア](#)
- [ネットワーク管理](#)
- [オプティカル ネットワーク](#)
- [ルータとスイッチ](#)
- [セキュリティおよび VPN](#)
- [ストレージ ネットワーキング](#)
- [TelePresence](#)
- [ツールとリソース](#)
- [ビデオ、ケーブル、コンテンツ配信](#)

- [音声とユニファイド コミュニケーション](#)
- [ワイヤレス](#)

各機能拡張と機能拡張が統合されているバージョンを表示するには、適切なシスコ追跡 ID をクリックするか、[バグ ツール \(登録ユーザ専用\)](#) を使用してください。この情報を表示するには、Cisco.com に登録する必要があります。製品に関する Field Notice の詳細なリストについては、[製品に関する Field Notice の概要ページ](#) を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

[アプリケーション ネットワーキング サービス](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
Application and Content Networking System (ACNS)	N/A	この製品に関する情報は、このドキュメントの「構成と回避策」セクションの Application and Content Networking System(ACNS)を参照してください。
コンテンツ サービス スイッチ (CSS)	N/A	この製品に関する情報については、このドキュメントの「構成と回避策」セクションのコンテンツサービススイッチ (CSS)を参照してください。
Wide Area Application Services (WAAS)	N/A	
Wide Area File Services (WAFS)	N/A	

[\[先頭に戻る\]](#)

[インターフェイス/モジュール](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
Application Performance Assurance Network Module(NME-APA)	N/A	

Content Engine Network Module(NM-CE)	N/A	
Network Analysis Module(NM-NAM)	N/A	
Unity Expressネットワークモジュール(NM-CUE)	CSCsm04830	この製品に関する情報は、『 CSCsm04830:Hursley JVM-CUE, Argentina DST change on December 30 fails 』を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

[Cisco IOS ソフトウェア](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
Cisco IOS®ソリューション： <ul style="list-style-type: none"> • Dynamic Multipoint VPN (DMVPN) • EasyVPN • IPSec • Service Module • Web VPN 	N/A	VPN 3Kハードウェアは、GUIを使用して手動で変更する必要があります。 Configuration > System > General の順に選択し、Time and Dateダイアログボックスで変更を行います。VPN Clientアプリケーションは、Windowsの設定で変更する必要があります。VPN SPAは、Cisco IOSでclockコマンドを使用して変更します。詳細については、 このドキュメントの「設定と回避策」 セクションの「 Cisco IOSソフトウェアプラットフォーム 」を参照してください。
Cisco IOS ソ	N/A	この製品に関する情報は、このドキュメントの「 設定と回避策 」セクションの「

フトウ エアプ ラット フォー ム		Cisco IOSソフトウェアプラットフォーム」を参照してください。
Cisco IOS XR	N/A	この製品に関する情報は、このドキュメントの「設定と回避策」セクションのCisco IOS XRを参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

ネットワーク管理

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
Building Broadband Service Manager (BBSM)	N/A	
CiscoWorks	N/A	この製品に関する情報は、このドキュメントの「構成と回避策」セクションのCiscoWorksを参照してください。
CiscoWorks Common Services (CWCS)	N/A	
CiscoWorks LAN Management Solution (LMS) バージョン 2.2	N/A	
CiscoWorks LAN Management Solution (LMS) バージョン 2.5 および 2.6	N/A	
CiscoWorks Network Compliance Manager (NCM)	N/A	
CiscoWorks Small Network Management Solution (SNMS)	N/A	
CiscoWorks Voice Manager (CWVM)	N/A	

)		
Cisco Works Internetwork Performance Monitor(IPM)	N/A	
IP Solution Center (ISC)	N/A	
License Manager (CLM)	N/A	
Mobile Wireless Transport Manager (MWTM)	N/A	
Netflow Collection Engine (NFC)	N/A	
ネットワーク解析 モジュール (NAM)	N/A	
Network Connectivity Monitor	N/A	
ネットワークレジ ストラ (CNR)	N/A	
Performance Visibility Manager (PVM)	N/A	
QoS ポリシー マ ネージャ (QPM)	CSCs m020 83	この製品に関する情報は、『 オーストラリアのDST変更 /アルゼンチンのDST変更 』 を参照してください。
Secure Access Control Server (ACS)	N/A	
Shine 3.1、3.2、 3.3、および3.4	N/A	
Signaling Gateway Manager (SGM)	N/A	
Subscriber Edge Services Manager (SESM)	N/A	
Transport Manager (CTM)	N/A	
WAN Manager (CWM)	N/A	

[\[先頭に戻る\]](#)

[オプティカル ネットワーク](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
ONG オプティカル製品	N/A	
ONS 15000 シリーズの製品	N/A	この製品の 詳細については 、このドキュメントの「構成と回避策」セクションのONS 15000シリーズ製品を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

[ルータとスイッチ](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
CatOS プラットフォーム	N/A	この製品に関する 情報は 、このドキュメントの「設定と回避策」セクションの「CatOSプラットフォーム」を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

[セキュリティおよび VPN](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
適応型セキュリティ アプライアンス (ASA) プラットフォーム	N / A	この製品に関する 情報は 、このドキュメントの「構成と回避策」セクションの「 適応型セキュリティアプライアンス(ASA)およびPIXプラットフォーム 」を参照してください。
Adaptive Security Device Manager (ASDM)	N / A	
CiscoWorks Security Information Management	C S C S	この製品に関する 情報は 、『 CSCsm33357:アルゼンチンおよびDST変更の修正が必要 』を参照してください。

Solution (SIMS)	m33357	
DDoS Guard および Detector アプライアンス	N / A	
Incident Control Server(CICS)	E O S / E O L	この製品のステータスに関する詳細は、 「Cisco Incident Control System製品およびサービス」 ページを参照してください。
侵入検知および防御(IPSおよび侵入検知システムサービスモジュール 2(IDSM2))	N / A	この製品に関する情報は、 このドキュメントの「構成と回避策」セクションの「侵入検知と防御(IPSおよび侵入検知システムサービスモジュール2(IDSM2))」 を参照してください。
NAC アプライアンス (Cisco Clean Access)	N / A	
Secure ACS アプライアンス	N / A	
Security Agent(CSA)	N / A	クライアントオペレーティングシステムソフトウェアを更新する必要があります。
セキュリティマネージャ(CSM)	N / A	Cisco Security Managerは、サーバオペレーティングシステムから時間を取得します。Windowsオペレーティングシステムを更新して、最新の夏時間ルールを取得します。CSMは、Windows 2000 ServerおよびWindows 2003 Serverでサポートされています。
Security Monitoring, Analysis and Response System (CS-MARS)	CSCsl01098	この製品に関する情報については、 『CSCsl01098 : ベネズエラとアルゼンチンのタイムゾーン変更のパッチを含む』 を参照してください。
Trust Agent(CTA)	N / A	

Video Surveillance Stream Manager (ICE VSSW)	N / A	
VPN 3000 コンセントレータ (Altiga OS)	E O S / E O L	この製品は現在販売されておらず、サポートされていない可能性があります。この製品の詳細については、 「Cisco VPN 3000シリーズコンセントレータ製品およびサービス」 ページを参照してください。回避策に関する情報は、 このドキュメントの「構成と回避策」 セクションの「VPN 3000コンセントレータ(Altiga OS)」を参照してください。
VPN 3Kクライアント	N / A	VPN 3Kハードウェアは、GUIを使用して手動で変更する必要があります。Configuration > System > Generalの順に選択し、Time and Dateダイアログボックスで変更を行います。VPN Clientアプリケーションは、Windowsの設定で変更する必要があります。VPN SPAは、Cisco IOSでclockコマンドを使用して変更します。詳細については、 このドキュメントの「設定と回避策」 セクションの「 Cisco IOS ソフトウェアプラットフォーム」を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

[ストレージ ネットワーキング](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
ストレージスイッチ(SAN-OS) – ストレージMDS 9500シリーズ	N/A	この製品の詳細については、このドキュメントの「 設定と回避策 」セクションの「 ストレージスイッチ (SAN-OS) - ストレージ MDS 9500 シリーズ 」を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

[TelePresence](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項

TelePresence Code c	CSCsm92720	この製品の詳細は、 『CSCsm92720:Need to update with the new DST changes for Argentina』 を参照してください。
TelePresence Manager	N/A	TelePresence Managerバージョン1.2以前が該当します。TelePresence Manager 1.3以降にアップグレードして、2007アルゼンチンのDSTポリシー変更定義を取得します。

[\[先頭に戻る\]](#)

[ツールとリソース](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
Ciscoverks IP Telephony Monitor (ITM) バージョン 2.0	N/A	
Unified Operations Manager(Cisco UOM)バージョン1.1および2.0	N/A	
Unified Service Monitor (CUSM) バージョン 1.1 および 2.0	N/A	

[\[先頭に戻る\]](#)

[ビデオ、ケーブル、コンテンツ配信](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
サービス コントロール エンジン (SCE)	N/A	

[\[先頭に戻る\]](#)

[音声とユニファイド コミュニケーション](#)

複数の Cisco Unified Communications 製品があるシステムを稼働している場合、製品をアップデートするために推奨される順序で適切なシステム アップグレードのマニュアルを参照してください。システムが構築される Unified CallManager のバージョンごとに別のシステム アップグレードのマニュアルがあります。

Unified CallManager 4.x をベースとするシステム テスト リリースの情報、システム アップグレードのマニュアルを検索するには、次の手順を実行します。

1. http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/GB_resources/ipcmatrix.htm に

アクセスします。

2. 使用しているリリース セットに該当する列見出しをクリックします。(システム テストのリリース バージョンは Unified CallManager のバージョンと同じではありません)。
3. システム アップグレードのマニュアルのリンクに移動します。

注: 「Unable to open script」というエラーが表示された場合は、DSTパッチを実行する前に Cisco Callmanagerで実行されている侵入防止ソフトウェアまたはCisco Security Agentを無効にします。

Unified CallManager 5.x をベースとする Unified Communications Systems の情報、システム アップグレードのマニュアルを検索するには、次の手順を実行します。

1. <http://www.cisco.com/go/unified-techinfo> にアクセスします。
2. 使用しているシステム リリースに対応するリンクをクリックします。(システム テストのリリース バージョンは、通常 Unified CallManager のバージョンと同じですが、必ず同じとは限りません)。
3. [Prepare and Plan] タブをクリックし、ページの左側にある目次で [Planning Your System Upgrade] リンクをクリックします。

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
エージェント デスクトップ (CAD)	N/A	
Broadband Telephony Switch (BTS 10200)	N/A	
Collaboration Server (CCS) - 3.0、4.0、および 5.0	N/A	
Conference Connection (C CC)	N/A	
コンタクトセンターサポーターツール	N/A	
Eメール対話マネージャ	N/A	
Emergency Responder (C ER)	N/A	
Fax Server	N/A	
Intelligent Contact	N/A	

Management (ICM) Enterprise - 4.x、5.0、および 6.0		
Interactive Suite (CIS)	N/A	
IP Communicator (CIPC)	CSCsm23748	この製品の詳細は、『 CSCsm23748 : アルゼンチン夏時間の変更が2008年のCIPCに影響を及ぼす 』を参照してください。
IP Contact Center (IPCC) Enterprise	N/A	
IP Contact Center (IPCC) Express	N/A	
IP Contact Center (IPCC) Hosted - 4.x および 5.0	N/A	
IP Interoperability and Collaboration System (IPICS)	N/A	IP Interoperability and Collaboration System(IPICS)は、現時点では、アルゼンチンの夏時間の実装に対するパッチを提供しません。
IP SoftPhone	N/A	Cisco IP Softphoneは販売終了です。オーストラリアの新しい夏時間ルールに準拠するために、エンドユーザのオペレーティングシステムを更新する必要があります。
Media Blender(CMB) 5.0	N/A	
Outbound Option - 6.0、7.0、および 7.1	N/A	
パーソナル アシスタント	N/A	Cisco Personal Assistantはソフトウェアサポート終了で、オーストラリアの夏時間の変更については更新されません。
PSTN	N/A	

Gateway (PG W2200)	A	
Unified Application Environment (CUAE)	N/A	
Unified CallManager Backup and Restore System (BAR S)	N/A	
Unified CallManager Express (CC ME)	N/A	このドキュメントの「 設定と回避策 」セクションの「 <i>Unified CallManager Express(CCME)</i> 」を参照してください。
Unified CallManager ITM	N/A	
Unified CallManager WinOS Service Release	CSCsl90908	CSCsl90908 - DST:2007-2008アルゼンチンに必要なMCS-OSの更新 この製品に関する情報は、サマータイムの変更です。
Unified Communications Manager(CUCM)バージョン 3.xおよび4.x	CSCsl90873 CSCsl90896 CSCsl90880 CSCsl90834 CSCsm03185	この製品の詳細については、次のバグを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • CSCsl90896:DST:2007 ~ 2008年アルゼンチンのサマータイム変更に必要なコミュニケーションマネージャRTMTの更新 • CSCsl90873:DST:2007 ~ 2008年アルゼンチンのサマータイムに必要なコミュニケーションマネージャToD更新 • CSCsl90880:DST:2007 ~ 2008年のアルゼンチンのサマータイム変更に必要なJREアップデート • CSCsl90834:DST:2007 ~ 2008年のアルゼンチンのサマータイム変更に必要なコミュニケーションマネージャの更新 • CSCsm03185:DST:2007 ~ 2008年のアルゼンチンのサマータイム変更に必要なJREアップデート

シオンオペレーティングシステム(Linux)	CSC90904	品に関する情報 は、サマータイムの変更です。
Unified Contact Center Enterprise/Hosted	N/A	
Unified Contact Center Express	CSC94239	この製品の詳細は、 『Unified CCX Considerations for 07/08 Argentina DST Changes』 を参照してください。
Unified Customer Voice Portal (CVP)	N/A	
Unified Intelligent Contact Management (ICM) ACD	N/A	
Unified Intelligent Contact Management Enterprise および Hosted - 7.0 および 7.1	N/A	
Cisco Unified IP Phone : CP-3911および CP-3951	CSC93599	CSC93599 - DST:2007 ~ 2008年アルゼンチンに3951/3911の更新が必要 この製品に関する情報はサマータイムの変更です。
Unified IP Phone (7900 シリーズ) :CP-7906G、CP-7911G、CP-	CSC90	CSC90883 - DST:この製品に関する情報を得るには、2007年から2008年のアルゼンチンのサマータイムの変更 に電話の更新が必要です。

7931G CP-7941G、CP-7941G-GE、CP-7942G、CP-7945G CP-7961G、CP-7961G-GE、CP-7962G、CP-7965G CP-7970G、CP-7971G-GE	883	
Unified MeetingPlace	CSCsI97394 CSCsI97402	<p>この製品の詳細については、次のバグを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSCsI97394:New Argentina DST rules • CSCsI97402:New Argentina DST rules
Unified MeetingPlace Express	CSCsm23755	<p>この製品の詳細は、『CSCsm23755：アルゼンチン夏時間の変更が2008年のMPEに影響を及ぼす』を参照してください。</p>
Unified Personal Communicator (CUPC)	N/A	
Unified Presence(CUP)	CSCsI97553	<p>これらの製品の詳細については、次のバグを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CSCsI97553:Porting CSCsI90834 to epa(Argentina DST TZ, DB) • CSCsI97556:Porting CSCsI90890 to epa(Argentina DST TZ, JRE)

	CSCs197560 CSCs190896 CSCs197565 CSCs190904 CSCs197566 CSCs190905 CSCs197567 CSCs190908 CSCs197569 CSCs190910 CSCs197571 CSCs190912 CSCs197573 CSCs190914 CSCs197575 CSCs190916 CSCs197577 CSCs190918 CSCs197579 CSCs190920 CSCs197581 CSCs190922 CSCs197583 CSCs190924 CSCs197585 CSCs190926 CSCs197587 CSCs190928 CSCs197589 CSCs190930 CSCs197591 CSCs190932 CSCs197593 CSCs190934 CSCs197595 CSCs190936 CSCs197597 CSCs190938 CSCs197599 CSCs190940 CSCs197601 CSCs190942 CSCs197603 CSCs190944 CSCs197605 CSCs190946 CSCs197607 CSCs190948 CSCs197609 CSCs190950 CSCs197611 CSCs190952 CSCs197613 CSCs190954 CSCs197615 CSCs190956 CSCs197617 CSCs190958 CSCs197619 CSCs190960 CSCs197621 CSCs190962 CSCs197623 CSCs190964 CSCs197625 CSCs190966 CSCs197627 CSCs190968 CSCs197629 CSCs190970 CSCs197631 CSCs190972 CSCs197633 CSCs190974 CSCs197635 CSCs190976 CSCs197637 CSCs190978 CSCs197639 CSCs190980 CSCs197641 CSCs190982 CSCs197643 CSCs190984 CSCs197645 CSCs190986 CSCs197647 CSCs190988 CSCs197649 CSCs190990 CSCs197651 CSCs190992 CSCs197653 CSCs190994 CSCs197655 CSCs190996 CSCs197657 CSCs190998 CSCs197659 CSCs191000	<ul style="list-style-type: none"> • CSCs197560:Porting CSCs190896 to epa(Argentina DST TZ, RTMT) • CSCs197565:Porting CSCs190904 to epa(Argentina DST TZ, OS)
Unified System Contact Center Enterprise (System IPCC) - 7.0、7.1	N/A	
Unified Video Advantage (C UVA)	N/A	
Unified Video Conferencing (CUVC)	CSCsm23761	<p>この製品の詳細は、『CSCsm23761：アルゼンチンのDSTの変更が2008年のCUVCマネージャに影響を与える』を参照してください。</p>
Unified Workforce Optimization(WFO)	N/A	
Unity Connection	N/A	

Unity Express(CUE)	CSCsm04830	この製品に関する情報は、『 CSCsm04830:Hursley JVM-CUE, Argentina DST change on December 30 fails 』を参照してください。
Unity Voice Mail	CSCsm32824	CSCsm32824 - DST Argentina Unity :この製品に関する情報については、 Unity のアップデートを参照してください。
VG248 Analog Phone Gateway	N/A	
Voice Provisioning Tool (VPT)	N/A	
Web Collaboration Option - 5.0	N/A	
Web Interaction Manager	N/A	

[\[先頭に戻る\]](#)

[ワイヤレス](#)

シスコ製品	シスコ追跡 ID	注意事項
アクセスポイントとワイヤレスコントローラ	N/A	

[\[先頭に戻る\]](#)

[設定と回避策](#)

ここでは、夏時間をサポートする一般的な Cisco プラットフォームに対する回避策や手動設定が

含まれています。

利用可能な設定	
シスコプラットフォーム	回避策の利用可能性
適応型セキュリティアプライアンス (ASA) と PIX プラットフォーム	Yes
Application and Content Networking System (ACNS)	Yes
CatOS プラットフォーム	Yes
CiscoWorks	パッチ
コンテンツ サービス スイッチ (CSS)	Yes
侵入検知および防御 (IPS および 侵入検知システム サービス モジュール 2 (IDS M2))	Yes
Cisco IOS ソフトウェア プラットフォーム	Yes
Cisco IOS XR	Yes
	Yes
ストレージ スイッチ (SAN-OS) — ストレージ MDS 9500 シリーズ	Yes
Unified CallManager Express (CCME)	Yes
VPN 3000 コンセントレータ (Altiga OS)	[いいえ (No)]: 3月と11月に手動で設定します。

[\[先頭に戻る\]](#)

[適応型セキュリティアプライアンス \(ASA\) と PIX プラットフォーム](#)

単一のコンフィギュレーション コマンドを使用して、Cisco PIX または ASA OS を実行しているシステムの DST 設定パラメータを変更できます。特定のデバイスの現在のデフォルト設定を変更するために、このコマンドはいつでもあらゆるデバイスで実行できます。ASA へのプラグインデバイス (ASDM、AIP-SSM、CSC-SSM、およびその他のモジュール) は、ASA から時間がかかります。

```
clock summer-time zone date month date year hh:mm month date year hh:mm [offset]
```

注：サマータイムオプションを使用しない場合、この問題の影響を受けません。[summer-time] オプションを使用していないことを確認するには、次のコマンドを実行します。show run | include summer-time

このコマンドからの出力が表示されない場合、デバイスに対する問題の影響はありません。出力が表示される場合はデバイスがこの問題に該当するため、[Cisco Technical Assistance Center \(TAC \)](#) に連絡して 6.3(5.123) 暫定イメージを入手してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

[Application and Content Networking System \(ACNS \)](#)

Cisco Application and Content Networking System(ACNS)またはContent EngineのDST設定パラメータは、1つの設定コマンドで変更できます。特定のデバイスの現在のデフォルト設定を変更するために、このコマンドはいつでもあらゆるデバイスで実行できます。

```
clock summertime zone recurring [{week} {day} {month} {hh:mm} {week | day | month | hh:mm} [offset]]
```

2007年のDST時間変更に準拠するには、任意のACNSデバイスで次のコマンドを使用します。

```
clock summertime EDT recurring 2 Sun Mar 2:00 1 Sun Nov 2:00
```

[\[先頭に戻る\]](#)

[CatOS プラットフォーム](#)

単一のコンフィギュレーションコマンドを使用して、Cisco CatOS リリース 5.4 以降を実行しているシステムの DST 設定パラメータを変更できます。特定のデバイスの現在のデフォルト設定を変更するために、このコマンドはいつでもあらゆるデバイスで実行できます。

```
set summertime date {month} {date} {year} {hh:mm}{month | date | year | hh:mm}[offset]
```

[\[先頭に戻る\]](#)

[CiscoWorks](#)

CiscoWorks や Cisco Secure ACS などの管理アプリケーションは、オペレーティング システムで提供される時間を使用します。したがって、DST の問題を解決するには、使用しているオペレーティング システム (Windows、Solaris など) の修正が含まれているオペレーティング システムのパッチをインストールする必要があります。

Unified CallManager や ACS アプライアンスなどのシスコによって維持されるオペレーティング システムがプラットフォームに含まれている場合は、シスコがパッチを提供します。[「ネットワーク管理」セクションで該当する製品のリストを参照し、使用している製品のパッチがいつ利用可能になるかを確認してください。](#)

[\[先頭に戻る\]](#)

[コンテンツ サービス スイッチ \(CSS \)](#)

単一のコンフィギュレーション コマンドを使用して、WebNS を実行しているコンテンツ サービス スイッチ (CSS) の DST 設定パラメータを変更できます。特定のデバイスの現在のデフォルト設定を変更するために、このコマンドはいつでも CSS で SuperUser モードで実行できます。

```
clock summer-time zone date month date year hh:mm month date year hh:mm [offset]
```

[\[先頭に戻る\]](#)

[侵入検知および防御\(IPSおよび侵入検知システムサービスモジュール2\(IDSM2\)\)](#)

Cisco 侵入検知および侵入防御デバイスで夏時間の設定を変更するには、CLI でセットアップ オプションを使用します。

```
Modify summer time settings? [no]:yes  
Recurring, Date or Disable[recurring]:date  
Start Month[mar]:  
Start Week[2]:  
Start Day[sun]:  
Start Time[02:00:00]:  
End Month[nov]:  
End Week[1]:  
End Day[sun]:  
End Time[02:00:00]:  
DST Zone[]: EDT  
Offset[60]:
```

注：GUIベースの管理パッケージには、必要な変更を行うために使用できる時間ベースのセットアップ画面が含まれている場合があります。

[\[先頭に戻る\]](#)

[Cisco IOS ソフトウェア プラットフォーム](#)

Cisco IOS DSTの設定パラメータは、1つの設定コマンドで変更できます。デバイスの現在のデフォルト設定を変更するには、このコマンドをいつでも、任意のデバイスで実行できます。

```
clock summer-time zone date month date year hh:mm month date year hh:mm [offset]
```

clock summer-timeコマンドの詳細については、『[Cisco IOS ネットワーク管理コマンドリファレンス](#)』を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

[Cisco IOS XR](#)

単一のコンフィギュレーション コマンドを使用して、Cisco IOS XR を実行しているシステムの DST 設定パラメータを変更できます。特定のデバイスの現在のデフォルト設定を変更するために、このコマンドはいつでもあらゆるデバイスで実行できます。

```
clock summer-time zone date month date year hh:mm month date year hh:mm [offset]
```

[\[先頭に戻る\]](#)

[ONS 15000 シリーズの製品](#)

シスコは、新しいDSTの実装が新しいアルゼンチンのDST時間で正しく変更されるように、ONS 15600、15454、15327、および15310製品のCTCおよびTLソフトウェアにをに変更変更しました。

システムソフトウェアを更新していないシステムは、以前の夏時間に設定されたルールに自動的に従います。つまり、2007年12月30日にシステムが自動的にDSTが有効であるとは推定しないため、システムはクロックを自動的に変更し、不正確な時間を反映します。

2007年のDSTの時間変更に準拠するには、次のオプションを使用できます。

- 使用しているソフトウェアの最新バージョンを入手します。シスコは、次のソフトウェアに新しいDSTの変更を実装しました（または実装します）。リリース 4.1.82リリース 5.0.8リリース 7.0.2以降リリース 7.2.2以降リリース 8.0.x以降このソフトウェアのその他のバージョンは、以前のDSTのルールで引き続き動作します。
- CTCを使用して時間を手動で変更します。ユーザが上記のソフトウェアリリースへのアップグレードを希望しない場合、CTCではDSTを有効または無効にする機能と、ノードの時間を変更する機能が提供されています。ユーザはシステム時刻を手動で制御し、正しい時刻を反映するようにシステムクロックを設定する必要があります。システム時刻を手動で変更する曜日と時刻を決定するには、このドキュメントの「概要」セクションの「夏時間の変更の概要」の表を参照してください。
- TL1 CLIを使用し、時間を手動で変更します。単一のコンフィギュレーションコマンドを使用して、Optical Operating System (ONS) を実行しているシステムのtime-of-dayパラメータを変更できます。コマンドの形式は、次のとおりです。

```
SET-TOD: [
```

このコマンドはONSを実行するオプティカル製品の時間を変更します。ただし、夏時間の開始時刻と終了時刻は変更されず、製品はオペレーションコードで符号化されたデフォルト値を使用します。

上記のカテゴリのいずれにも該当しない場合、各自のアカウントマネージャに問い合わせる必要があります。

注：タイムゾーンの設定と時刻のリセット方法の詳細については、使用するCisco ONSリリースの関連手順ガイドを参照してください。たとえば、Cisco ONS 15454を使用している場合は、『Cisco ONS 15454 Procedure Guide, Release 7.0』を参照してください。

[\[先頭に戻る\]](#)

[ストレージスイッチ\(SAN-OS\) – ストレージMDS 9500シリーズ](#)

デフォルトでは、MDS SAN-OSは夏時間に対応していないため、ソフトウェアではDST設定のデフォルト値は提供されていません。したがって、夏時間の設定には、開始日と終了日のパラメータを含める必要があります。

```
clock summer-time zone start_week start_day start_month start_time end_week end_day end_month end_time daylight_offset
```

MDS SAN-OS では夏時間の設定のデフォルト値が提供されていないため、コードの変更は必要ありません。SAN-OS の DST の設定は次の理由により、CLI から設定する必要があります。

- DST 設定をサポートしていないため、この設定では複数のスイッチを設定するために Fabric Manager を使用することはできません。
- Cisco Fabric Services では単一のファブリックが複数のタイムゾーンにまたがることがあるため、夏時間の設定をサポートしていません。

[\[先頭に戻る\]](#)

[Unified CallManager Express \(CCME \)](#)

CCMEはCisco IOSを使用します。Cisco IOS DST設定パラメータは、1つの設定コマンドで変更できます。デバイスの現在のデフォルト設定を変更するには、このコマンドをいつでも、どのデバイスでも実行できます。

```
clock summer-time zone date month date year hh:mm month date year hh:mm [offset]
```

clock summer-timeコマンドの詳細については、『[Cisco IOSネットワーク管理コマンドリファレンス](#)』を参照してください。

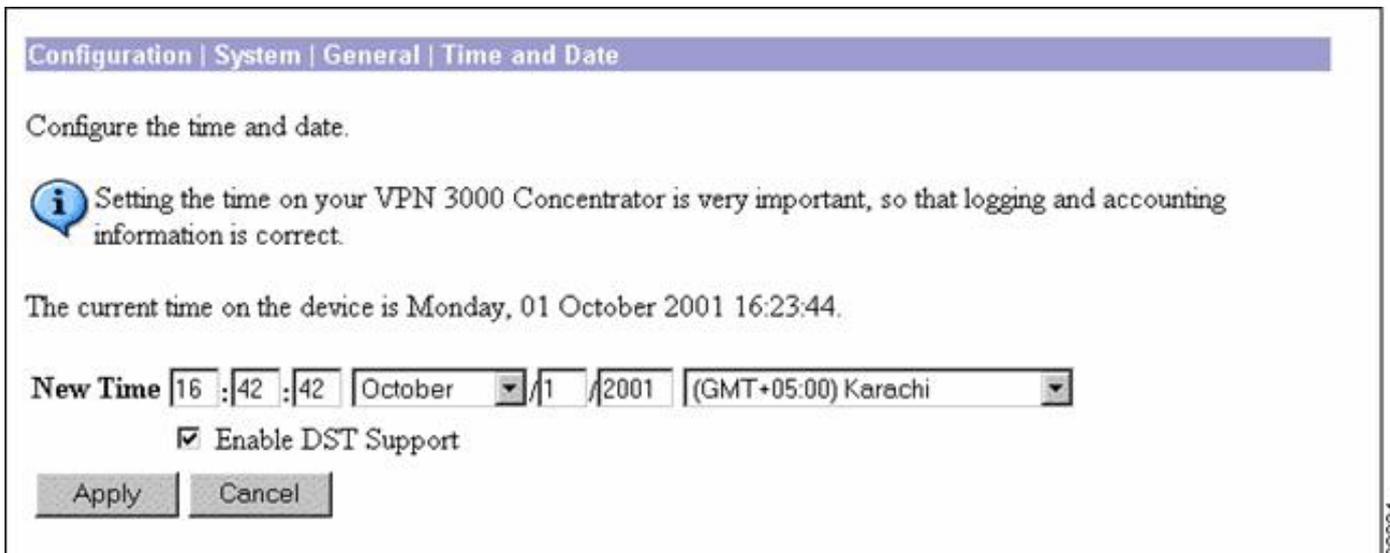
[\[先頭に戻る\]](#)

[VPN 3000 コンセントレータ \(Altiga OS \)](#)

Altiga OS を実行しているシステムの DST の設定パラメータは変更できません。現在、Altiga OS の 4.1 および 4.7 リリースでは、以前の設定どおりに夏時間のデフォルト設定を使用するため、サマータイム機能を有効にすることができます。この問題を回避するには、2007年12月30日に新しい夏時間が発生する1時間前の時刻を設定する必要があります。これらのデバイスではDSTを無効にして、デバイスが3月16日にクロックを先に設定しないようにします。

注：このセクションに記載されている情報は、修正済みコードが利用可能になった後に修正済みコードにアップグレードしないことを選択した場合の回避策です。

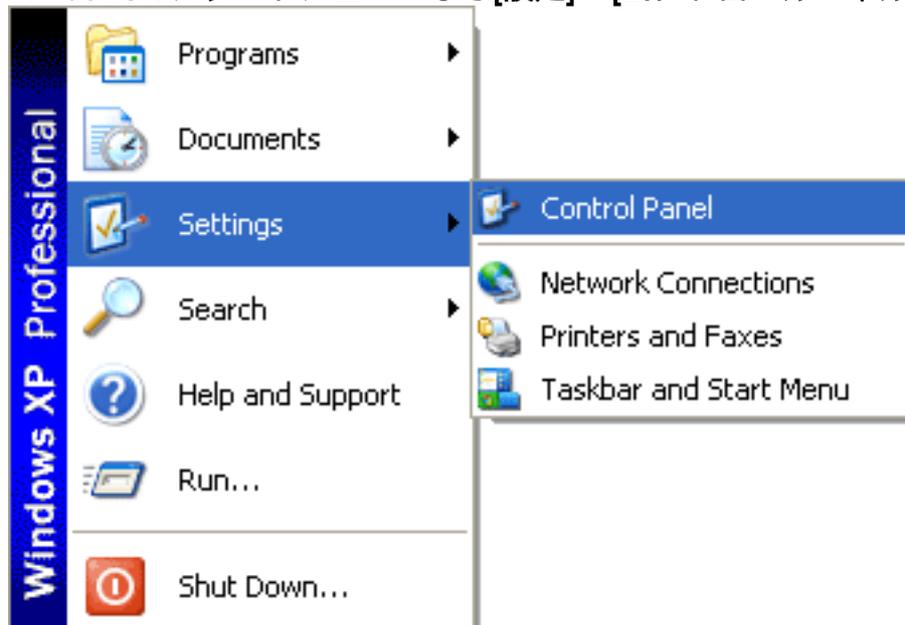
夏時間を無効にして、次の図に示すように、クロックの時間を進めて設定します。



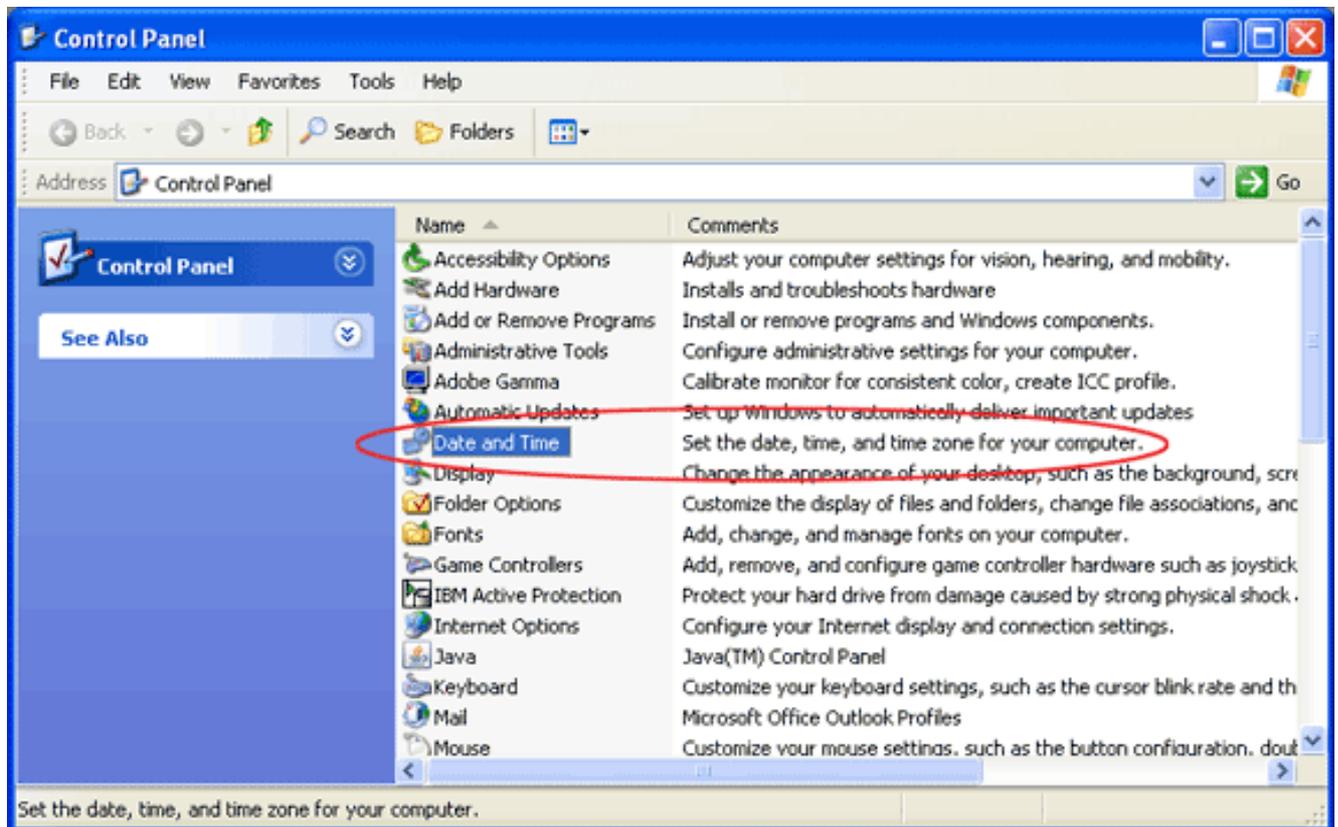
Windows オペレーティング システム

コントロールパネルの[日付と時刻]ツールを使用して、タイムゾーンの設定を変更します。ブエノスアイレス (アルゼンチン) の場合、GMT-03:00には夏時間オプションはありません。

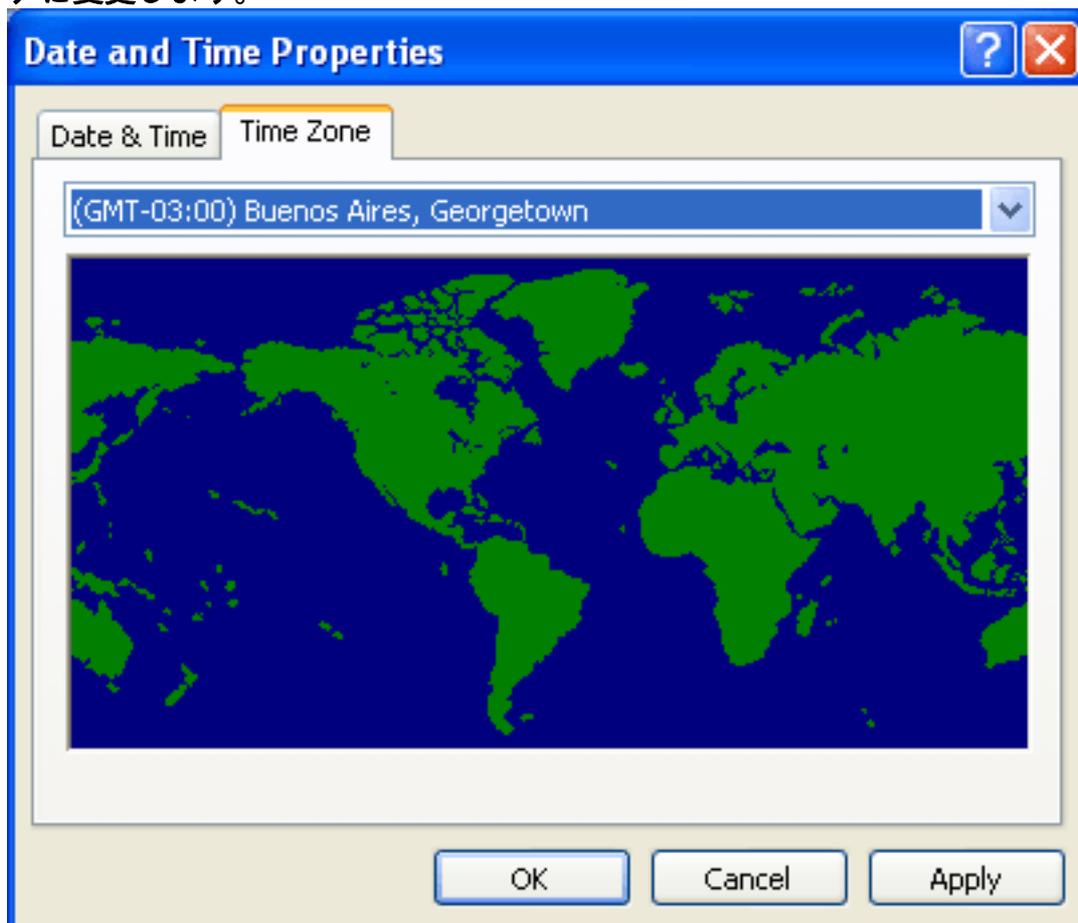
1. Windowsのスタートメニューから[設定] > [コントロールパネル]を選択します。



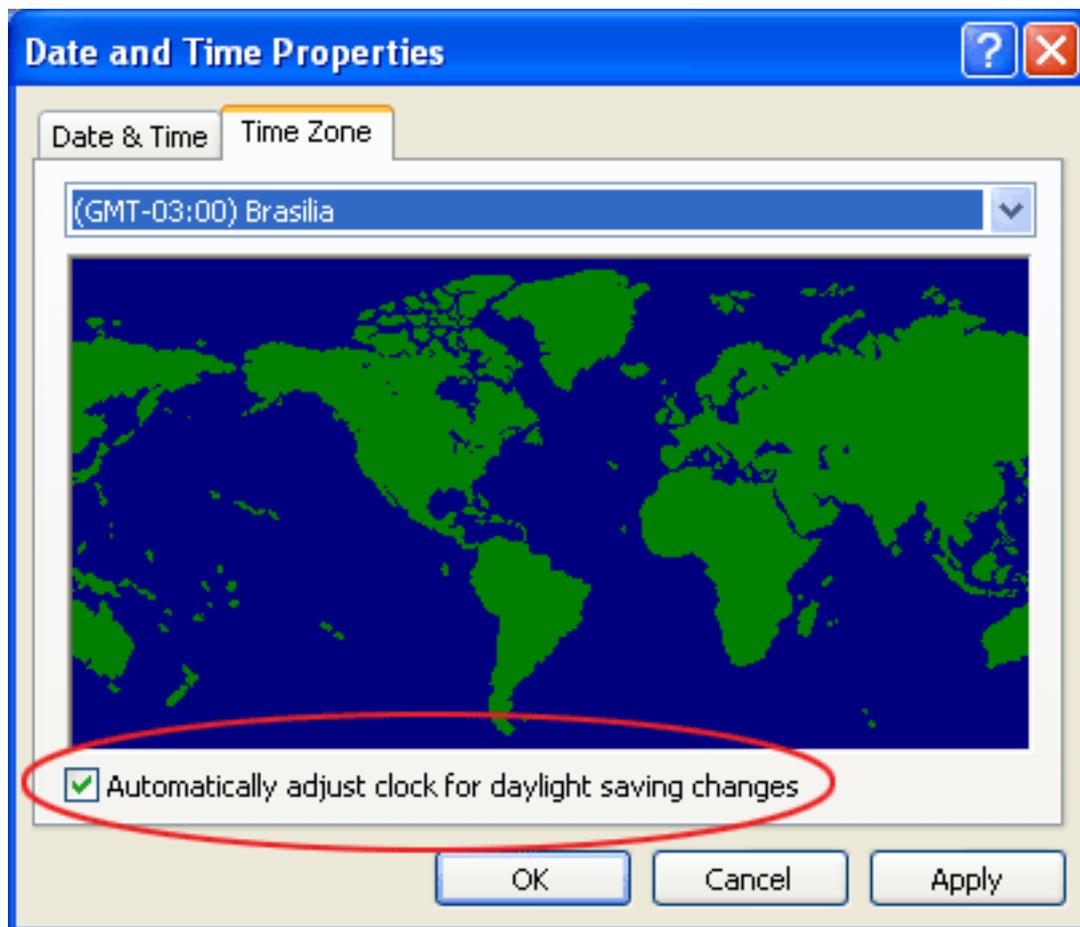
2. [日付と時刻]をダブルクリックします。



3. タイムゾーンを(GMT-03:00)ブエノスアイレス、ジョージタウンから(GMT-03:00)ブラジリアに変更します。



4. [Automatically adjust clock for daylight saving changes]チェックボックスをオンにして、システム時刻に1時間を追加します。



注：ブラジリア

(ブラジル)オプションもGMT-03:00ですが、(ブエノスアイレスとは異なり)このオプションは、夏時間の変更に合わせて自動的にクロックを調整するオプションを表示します。

ドキュメント ID : 100508

関連情報

- [JREソフトウェアのタイムゾーンデータのバージョン](#)
- [Java Technology Bug ID 6595137](#)
- http://www.lanacion.com.ar/politica/nota.asp?nota_id=973996
- [Microsoft Windowsオペレーティングシステム用の2007年12月の累積タイムゾーンの更新](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)